

2027年度

学生募集要項

経済学研究科

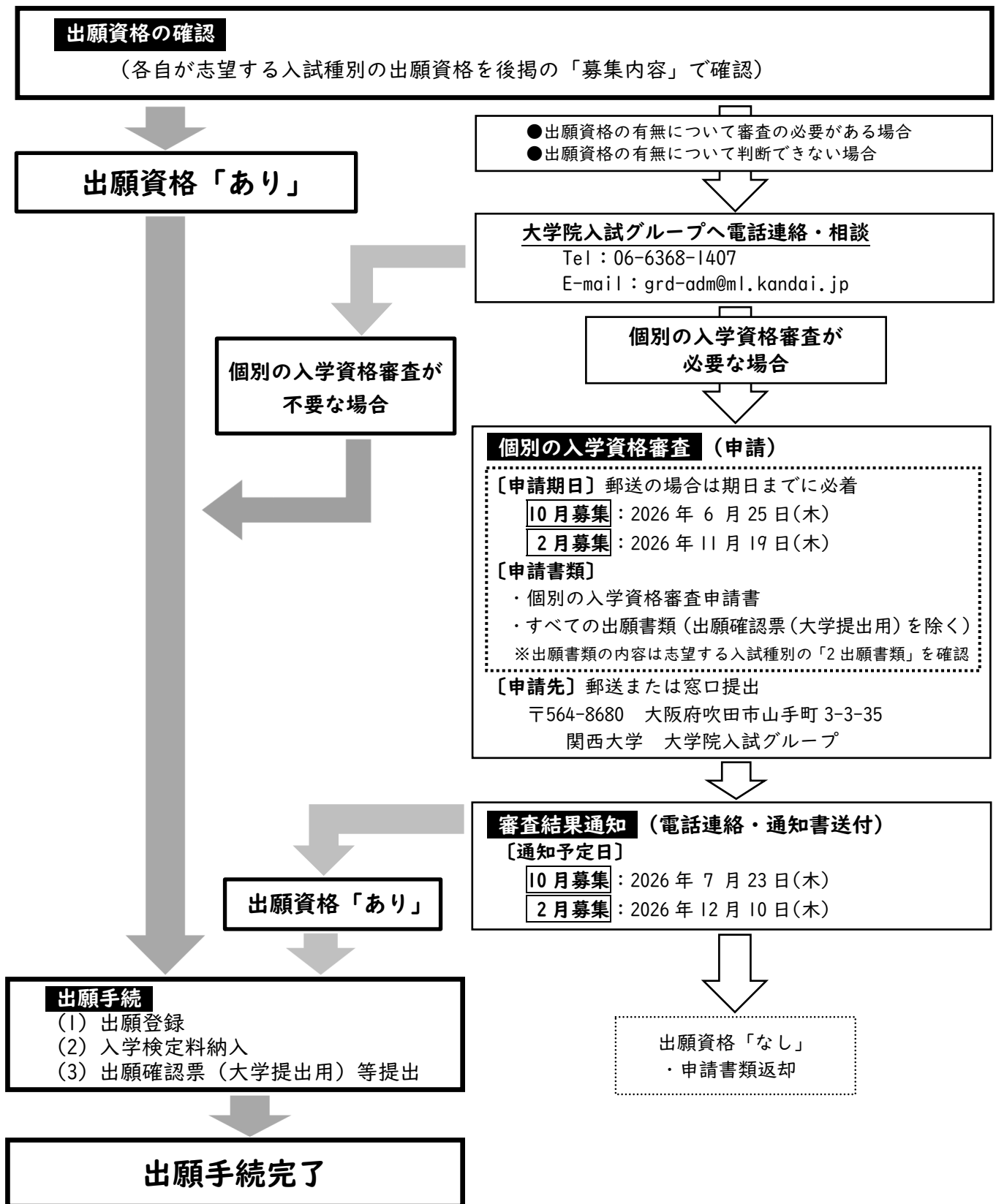
大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』も必ずご確認ください。

関西大学大学院

目 次

I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2
IV	募集内容	3
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻・コースおよび入学定員	3～4
	一般入学試験〔研究計画評価方式〕(10月募集・2月募集)	5～8
	一般入学試験〔共通試験方式〕(10月募集)	9～12
	一般入学試験〔経済学検定利用方式〕(10月募集・2月募集)	13～16
	2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧(博士課程前期課程)	17
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	18
	一般入学試験(2月募集)	19～22
	2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧(博士課程後期課程)	23
V	出願書類に関する注意事項	24～25

I 出願前の確認



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き一般入学試験を出願する場合

II 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

経済学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程で専攻した経済学に関係する専門知識を修得している。
- 2 グローバル化が進展する現代社会に対応する能力を備え、幅広い視野と研究の基盤となる外国語運用能力を修得していることが望ましい。
- 3 先端の経済学を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

後期課程

経済学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した経済学に関する専門知識・技能を修得している。
- 2 グローバル化が進展する現代社会に対応する能力を備え、より多面的で幅広い視野と研究の基盤となる優れた外国語運用能力を修得している。
- 3 先端の経済学を主体的に学ぶ強い意欲を持ち、経済学や現実経済の課題に対して、積極的に取り組む態度を有している。

III 2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、出願登録、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。

出願登録のみでは出願したものとして取り扱いません。

出願に際しては本冊子および『学生募集要項 別冊（研究科共通）』に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

日 程	10月募集		2月募集	
入学定員	【経済学専攻】 前期課程：35名 後期課程：5名			
課 程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別 〔方式〕	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験〔研究計画評価方式〕 ■一般入学試験〔共通試験方式〕 ■一般入学試験〔経済学検定利用方式〕 	—	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験〔研究計画評価方式〕 ■一般入学試験〔経済学検定利用方式〕 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験
出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2026年8月21日(金)～9月4日(金)		2026年12月18日(金)～2027年1月8日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2026年10月5日(月)		2027年2月15日(月)	
試験日	2026年10月11日(日) (予備日)2026年10月25日(日)		2027年2月20日(土) (予備日)2027年2月21日(日)	
合格者発表日	2026年10月16日(金) (予備日)2026年10月30日(金)		2027年2月26日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2026年10月16日(金)～10月30日(金) (予備日)2026年10月30日(金)～11月13日(金)		2027年2月26日(金)～3月15日(月)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2027年2月15日(月)～3月15日(月)			

※方式ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (<https://kansai-gradsch.kansai-u.ac.jp/>) で別途案内しています。

全国社会保険労務士会連合会特別推薦入学試験の学生募集要項は別途で案内しています。

IV 募集内容

経済学研究科（博士課程前期課程）

募集専攻・コースおよび入学定員

専攻	コース	入学定員
経済学専攻	研究者養成コース	35名
	高度専門職業人養成コース	

注 方式ごとの募集人員は設定していません。

○ コース制について

・ 研究者養成コース

このコースは、すでに経済学の基礎知識を学んだ人を対象とし、博士課程前期課程で経済学の諸分野の研究能力を修得し、各自が選んだ研究テーマについて修士論文をまとめることを目的としています。博士課程前期課程修了後、後期課程へ進学することが期待されています。

なお、本コース修了（または見込み）者は後期課程進学に際する大学院入学試験で筆記試験を免除します。

・ 高度専門職業人養成コース

このコースは、博士課程前期課程で、経済学の高度な専門的知識を修得し、各自が選んだ研究テーマについて「特定の課題についての研究成果報告書」をまとめることを目的としています。企業や政府機関等における研究、分析、経営といった業務の遂行に必要とされる能力を養い、希望によっては所定の試験を受けて後期課程へ進学することもできます。

※ 指導教員との相談のうえ、修士論文を書くことも可能です。

○ 研究指導体制について

・ 研究者養成コース

指導教員による研究指導（演習・論文指導）は前期課程1年（M1）の秋学期から行います。指導教員は、原則として出願前に指導の希望を伝えた教員となります。

・ 高度専門職業人養成コース

指導教員による研究指導（演習・論文指導）は前期課程1年（M1）の秋学期から行います。ただし、「研究計画評価方式」で入学された方は、出願前に指導の希望を伝えた教員が原則として指導教員となりますが、「共通試験方式」および「経済学検定利用方式」等で入学された方については、M1の春学期に指導教員が決まります。詳細は入学後の新入生オリエンテーションで案内します。

○ 履修方法（各コース共通）について

指導教員の担当する講義、演習および論文指導の計10単位を含めて32単位以上を修得しなければなりません。

※ 講義は、3つの領域に配置される専門科目、共通科目、7つの基礎科目（ミクロ経済学基礎研究、マクロ経済学基礎研究、計量経済学・統計学入門、文献・実地調査入門、経済史・経済学説史入門、財政学入門、国際経済事情（英語科目））に分かれます。

3つの領域と対応する分野およびその概要

領域	分野	概要
経済理論	ミクロ経済学・ マクロ経済学・ 計量経済学・統計学	現代経済学の理論的・統計的手法に習熟した専門家として、経済問題の調査・分析にあたる高度の専門的知識と能力を身につける。
応用経済	財政・経済政策	公共政策・財政・自治体経営などに関わって、広く公共部門で活躍するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
	産業・企業	現代の産業と企業を対象に、経営・労働・ファイナンスなどについて考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
国際・地域・ 歴史思想	国際経済・地域研究	グローバル化した現代経済を地域的・国際的視野から考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
	歴史・思想	経済史、経済学史、社会思想史、政治・制度と経済の関わりなどについて考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。

M 一般入学試験〔研究計画評価方式〕（10月募集・2月募集）

I 出願資格

研究者養成コース：次の（1）および（2）に該当する者

高度専門職業人養成コース：次の（1）に該当する者

（1）次のア～コのいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、ア～クのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注1）

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注3）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)-ウと同様とみなす。

- ・ 日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・ 日本にある外国人学校
- ・ 文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

注3 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く）で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了（見込みを含む）した外国人留学生は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験（JLPT）」N2（旧試験では2級）以上に合格、または「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）240点以上得点していること。

ただし、「日本留学試験（EJU）」については、各募集月の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る。

（2）次のア～イのいずれかを有する者

ア TOEFL iBT® テスト（My Best™ スコアを含む）3.5以上（2026年1月20日以前に受検した場合は61点以上）

イ TOEIC® L&R テスト（TOEIC® L&R テスト(IP)を除く）600点以上のスコア

※1 スコア証明書は、出願開始日が当該発行機関の定める有効期間内に含まれているものに限る。

※2 TOEIC® L&R テスト（IP）等の団体特別受験制度、TOEFL ITP® 等団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコアは認めません。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者
出願資格(1)-ケまたは(1)-コに該当する志願者
2. 手続方法・申請期日
1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。
(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者(見込含む)は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。
(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者(見込含む)は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、24～25 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格(1)-イによる志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(1)-カによる志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校 の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書(申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>

<p>日本語による研究計画書【⑤】</p>	<p>原本1部とその写し3部 パソコン等で、A4用紙(横書き40字×40行)を使用して次のとおり作成してください。</p> <p>【研究者養成コース】 次の①～⑤の項目について、見出しを付けて記述してください。 ① 大学院で予定している研究テーマ(100字程度) ② 研究動機・問題意識(②～④合わせて5,000字程度) ③ 研究テーマに関してこれまで学んできたこと ④ 期待される研究成果 ⑤ 指導を希望する教員名と希望する理由(300字程度)</p> <p>なお、研究テーマに関して読んだ書籍・論文があれば、その著者名、タイトル、出版社名(書籍の場合)もしくは所収誌名(論文の場合)、URL等の入手先(電子ファイルの場合)を参考文献としての最後にリストアップしてください(少なくとも1冊、もしくは、1本挙げておくのが望ましい)。</p> <p>【高度専門職業人養成コース】 次の①～④の項目について、見出しを付けて記述してください。 ① 大学院で研究したいテーマ(100字程度) ② テーマを選んだ理由・動機(②、③合わせて3,000字程度) ③ テーマに関してこれまで学んできたこと ④ 指導を希望する教員名と希望する理由(300字程度)</p> <p>なお、研究テーマに関して読んだ書籍・論文があれば、その著者名、タイトル、出版社名(書籍の場合)もしくは所収誌名(論文の場合)、URL等の入手先(電子ファイルの場合)を参考文献としての最後にリストアップしてください(少なくとも1冊、もしくは、1本挙げておくのが望ましい)。</p>
<p>出願許可書【⑥】</p>	<p>研究分野・テーマ設定等について認められ、志望指導教員から出願許可を得た者のみ、本学所定の用紙に必要事項を記入のうえ提出してください。</p>
<p>日本語能力に関する証明書 ★日本国以外の国籍を有する者(特別永住者を除く)で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了(見込を含む)した外国人留学生のみ【⑨】</p>	<p>●「日本語能力試験(JLPT)」 N2(旧試験2級)以上の合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>●「日本留学試験(EJU)」 「日本語(記述含む)」を240点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたもの</p>
<p>「TOEFL」または「TOEIC」のスコア証明書【⑩】 ★研究者養成コースのみ</p>	<p>●TOEFL iBT® (My Best™ スコア含む) ETSアカウントから Kansai University Graduate Schools (Designated Institution (DI) Code : G128)へスコアの直送手続を行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。 ①ETSアカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report (PDFファイル)」をA4用紙に印刷したもの。 ②データ直送依頼が完了したことが分かる画面をA4用紙に印刷したもの。 ※直送先としてG128 (Kansai University Graduate Schools)が選択されていること、16ケタのAppointment Number(テスト予約番号、旧名称Registration Number)の2点がかかるもの。 (注) TOEFL ITP®テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Editionのスコアは認めません。</p> <p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」のPDFファイルをダウンロードのうえA4用紙に印刷したもの ※25ページの「TOEIC『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。 【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注1) TOEIC® L&Rテスト(IP)等の団体特別受験制度のスコアは認めません。 (注2) 原本は試験当日返却します。</p>
<p>研究業績(学習成果を含む)がある場合は、抜刷またはその写し【⑫】 ★該当者のみ</p>	<p>各4部 学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し</p>

在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。 【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。
写真 1枚	出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。
出願資格(1)-ケまたは(1)-コで出願する者	
資格・検定等がある場合はそれを証明する書類【⑩】★該当者のみ	「個別の入学資格審査申請書」の「資格・検定等」欄に記載した内容を証明するスコア証明書等 ★必ず原本を提出してください。
その他、学習成果がある場合はそれを証明するもの【⑪】★該当者のみ	4部 卒業論文に相当する論文など
業績報告書【⑫】 ★社会人経験等を有する者のみ	原本1部とその写し3部 在職中の研究業績内容または業務内容の概要1,000字程度
最終出身学校の成績証明書【⑬】 ★該当者のみ	出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 在籍中の場合には成績証明書に加えて在籍証明書も提出すること。 出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。
最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書【⑭】★該当者のみ	卒業(見込)または修了(見込)であること、入学年月および卒業・修了(見込)年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。

3 選考方法

研究計画書および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

研究計画書および口頭試問の得点それぞれについて基準点を設けて合否を決定します。

いずれかの得点が基準点到達しない場合、もう一方の得点に関係なく不合格となる場合があります。

なお、経済学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

コース	研究計画書(100点)	筆記試験	口頭試問(100点)
研究者養成コース 高度専門職業人養成コース	研究計画書の内容を 審査します	実施しません	研究計画書をはじめとした 出願書類に基づき行います

注 口頭試問の開始時刻等は受験票にて通知します。

M 一般入学試験〔共通試験方式〕（10月募集）

＜共通試験方式は高度専門職業人養成コースのみの募集となります＞

I 出願資格

次のア～コのいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、ア～クのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注1）
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- カ 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注3）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格ウと同様とみなす。

- ・ 日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・ 日本にある外国人学校
- ・ 文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

注3 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く）で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了（見込みを含む）した外国人留学生は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験（JLPT）」N2（旧試験では2級）以上に合格、または「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）240点以上得点していること。

ただし、「日本留学試験（EJU）」については、各募集月の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者
出願資格ケまたはコに該当する志願者
2. 手続方法・申請期日
1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。
(注1) 修了した課程が 16 年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。
(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、24～25 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	<p>卒業（見込）であること、入学年月および卒業（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格イによる志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格カによる志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書（申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書）</p>

日本語による研究計画書【⑤】	<p>原本1部とその写し3部 パソコン等で、A4用紙(横書き40字×40行)を使用して次のとおり作成してください。 大学院で研究したいテーマやその理由・動機を中心とした概要1,000字程度</p>
日本語能力に関する証明書 ★日本国以外の国籍を有する者(特別永住者を除く)で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了(見込を含む)した外国人留学生のみ【⑨】	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本語能力試験(JLPT)」 N2(旧試験2級)以上の合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。 ● 「日本留学試験(EJU)」 「日本語(記述含む)」を240点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたもの
研究業績(学習成果を含む)がある場合は、抜刷またはその写し【⑫】 ★該当者のみ	<p>各4部 学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑬】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ(特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。 【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。</p>
出願資格者またはコで出願する者	
資格・検定等がある場合はそれを証明する書類【⑩】★該当者のみ	<p>「個別の入学資格審査申請書」の「資格・検定等」欄に記載した内容を証明するスコア証明書等 ★必ず原本を提出してください。</p>
その他、学習成果がある場合はそれを証明するもの【⑪】★該当者のみ	<p>4部 卒業論文に相当する論文など</p>
業績報告書【⑫】 ★社会人経験等を有する者のみ	<p>原本1部とその写し3部 在職中の研究業績内容または業務内容の概要1,000字程度</p>
最終出身学校の成績証明書【⑬】 ★該当者のみ	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 在籍中の場合には成績証明書に加えて在籍証明書も提出すること。</p>
最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書【⑭】★該当者のみ	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 卒業(見込)または修了(見込)であること、入学年月および卒業・修了(見込)年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>

3 選考方法

筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の得点それぞれについて基準点を設けて合否を決定します。

いずれかの得点が基準点に抵触する場合、もう一方の得点に関係なく不合格となる場合があります。

なお、経済学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

筆記試験 専門科目 (100点)	口頭試問 (100点)
10:00~11:30 (90分)	研究計画書をはじめとした 出願書類に基づき行います
「ミクロ経済学・マクロ経済学」 「計量経済学・統計学」「財政学」 「経済史・経済学説史」から出願時に1科目を選択	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

M 一般入学試験〔経済学検定利用方式〕（10月募集・2月募集）

＜経済学検定利用方式は高度専門職業人養成コースのみの募集となります＞

I 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～コのいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、ア～クのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注1）
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- カ 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注3）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)-ウと同様とみなす。

- ・ 日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・ 日本にある外国人学校
- ・ 文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注3 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く）で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了（見込みを含む）した外国人留学生は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験（JLPT）」N2（旧試験では2級）以上に合格、または「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）240点以上得点していること。

ただし、「日本留学試験（EJU）」については、各募集月の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る。

(2) 経済学検定試験「ERE ミクロ・マクロ」の成績ランクがB+以上である者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者
出願資格(1)-ケまたは(1)-コに該当する志願者
2. 手続方法・申請期日
1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。
(注1) 修了した課程が 16 年未満で学士の学位を有する者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。
(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、24～25 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格(1)-イによる志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(1)-カによる志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書(申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>

日本語による研究計画書【⑤】	<p>原本1部とその写し3部 パソコン等で、A4用紙(横書き40字×40行)を使用して次のとおり作成してください。 大学院で研究したいテーマやその理由・動機を中心とした概要1,000字程度</p>
日本語能力に関する証明書 ★日本国以外の国籍を有する者(特別永住者を除く)で日本の大学・大学院を経ないで外国の大学・大学院を卒業・修了(見込を含む)した外国人留学生のみ【⑨】	<p>●「日本語能力試験(JLPT)」 N2(旧試験2級)以上の合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。 ●「日本留学試験(EJU)」 「日本語(記述含む)」を240点以上得点したことがわかるオンライン上で『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたもの</p>
経済学検定「ERE ミクロ・マクロ」の成績証明書【⑩】	<p>経済学検定試験「ERE ミクロ・マクロ」B+以上の『成績証明書』 ★必ず原本を提出してください。 なお、当該試験当日に試験会場にて発行される『実施結果』は受理できません。別途、申請のうえ発行される『成績証明書』を提出してください。</p>
研究業績(学習成果を含む)がある場合は、抜刷またはその写し【⑫】 ★該当者のみ	<p>各4部 学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ(特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。 【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。</p>
出願資格(1)-ケまたは(1)-コで出願する者	
資格・検定等がある場合はそれを証明する書類【⑩】★該当者のみ	<p>「個別の入学資格審査申請書」の「資格・検定等」欄に記載した内容を証明するスコア証明書等 ★必ず原本を提出してください。</p>
その他、学習成果がある場合はそれを証明するもの【⑪】★該当者のみ	<p>4部 卒業論文に相当する論文など</p>
業績報告書【⑫】 ★社会人経験等を有する者のみ	<p>原本1部とその写し3部 在職中の研究業績内容または業務内容の概要1,000字程度</p>
最終出身学校の成績証明書【⑬】 ★該当者のみ	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 在籍中の場合には成績証明書に加えて在籍証明書も提出すること。</p>
最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書【⑭】★該当者のみ	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 卒業(見込)または修了(見込)であること、入学年月および卒業・修了(見込)年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>

3 選考方法

口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点について基準点を設けて合否を決定します。

なお、経済学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目および配点

コース	筆記試験	口頭試問（100点）
高度専門職業人養成コース	実施しません	研究計画書をはじめとした出願書類に基づき行います

注 口頭試問の開始時刻等は受験票にて通知します。

注 出願に際しては、志望する演習担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、国内・海外での研究等で科目を担当しない学期があるので、
 事前に大学院入試グループへ相談してください。
なお、演習担任者・科目については変更することがあります。
変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansai-gradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧
 (博士課程前期課程)

一般入学試験 [研究計画評価方式]

演習・論文指導担任者				
経済 理論 領域	ミクロ経済学研究 (A)	教授	博(経済)神戸大	* 長久良一
	ミクロ経済学研究 (B)	教授	博(経済)大阪大	坂根宏一
	経済変動論研究	教授	Ph.D.(オーストラリア国立大)	鈴木智也
	経済成長論研究	教授	博(経済)神戸大	土居潤子
	統計学研究	教授	博(社会経済)筑波大	山田宏
	経済統計学研究	教授	博(経済)京都大	* 宇都宮浄人
	計量経済学研究 (A)	教授	博(経済)一橋大	伊藤高弘
	計量経済学研究 (B)	教授	博(経済)一橋大	片山直也
	情報処理論研究	教授	博(理)電通大	* 谷田則幸
	組織の経済学研究	教授	博(経営)神戸大	小林創
応用 経済 領域	経済政策研究	教授	博(経済)東京大	本西泰三
	財政学研究	教授	博(経済)関西学院大	* 林宏昭
	租税政策研究	教授	博(経済)大阪大	* 橋本恭之
	社会保障論研究	教授	博(国際公共政策)大阪大	佐藤雅代
	公共経済学研究	教授	博(経済)大阪大	前川聡子
	地域経済論研究	教授	博(経済)東北大	榊原雄一郎
	人口経済学研究	教授	博(経済)東北大	水落正明
	環境経済学研究	教授	博(人間・環境)京都大	新熊隆嘉
	産業組織論研究	教授	博(経済)学習院大	石井光
	中小企業論研究	教授		古賀款久
	流通経済論研究	教授	博(経済)関西大	佐々木保幸
	金融経済論研究	教授	博(経済)京都大	中川竜一
	労働経済学研究	教授	Ph.D.(ウイスコンシン大)	野坂博南
ビジネス・エコノミクス研究	教授	博(経済)大阪府立大	西川浩平	
国際・ 地域・ 歴史 思想 領域	国際経済学研究	教授	Ph.D.(ニューヨーク州立大)	菅田一
	国際金融論研究	教授	博(経済)大阪大	春日秀文
	経済発展論研究	教授	博(地域研究)京都大	後藤健太
	開発経済学研究	教授	博(経済)神戸大	山本裕基
	アジア経済発展論研究	教授	博(経済)関西大	北波道子
	中国経済論研究	教授	博(経済)立命館大	甲斐成章
	EU 経済論研究	教授	Ph.D.(ジョンズ・ホプキンス大)	* 神江沙蘭
	アフリカ経済論研究	教授	博(経済)岡山大 博(国際関係)南山大	ペドロ・ラポウズ
	日本経済史研究 (A)	教授	博(経済)慶應義塾大	北原聡
	日本経済史研究 (B)	教授	博(経済)慶應義塾大	山口明日香
	西洋経済史研究	教授	Ph.D.(グラスゴー大)	熊谷幸久
	アジア経済史研究	教授	博(経済)大阪大	西村雄志
	経済学説史研究	教授	博(経済)京都大	* 中澤信彦
	近代経済学史研究	教授		佐藤方宣
現代社会思想史研究	教授	博(経済)京都大	吉野裕介	
政治経済学研究	教授	博(経済)京都大	北川巨太	

注 *印を付した担任者については、後期課程に進学する際、担任者を変更する必要があります。

経済学研究科（博士課程後期課程）

募集専攻および入学定員

専攻	入学定員
経済学専攻	5名

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（2月募集）

I 出願資格

次の（1）および（2）に該当する者

（1）次のア～クのいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、ア～カのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- カ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- キ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- ク 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

（2）次のア～イのいずれかを有する者

ただし、本大学院経済学研究科研究者養成コース（またはアカデミックコースまたは本科コース）の修了（または見込み）者を除く。

- ア TOEFL iBT® テスト（My Best™ スコアを含む）3.5以上（2026年1月20日以前に受検した場合は61点以上）
- イ TOEIC® L&R テスト（TOEIC® L&R テスト(IP)を除く）600点以上のスコア

※1 スコア証明書は、出願開始日が当該発行機関の定める有効期間内に含まれているものに限る。

※2 TOEIC® L&R テスト（IP）等の団体特別受験制度、TOEFL ITP® 等団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコアは認めません。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-キまたは(1)-クに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、24～25 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
「TOEFL」または「TOEIC」のスコア証明書【⑩】	<p>●TOEFL iBT®（My Best™ スコア含む） ETS アカウントから Kansai University Graduate Schools（Designated Institution (DI) Code : G128）へスコアの直送を行ったうえで、次の①・②の両方を必ず提出してください。</p> <p>①ETS アカウントよりダウンロードした「Test Taker Score Report（PDF ファイル）」を A4 用紙に印刷したもの。</p> <p>②データ直送依頼が完了したことが分かる画面を A4 用紙に印刷したもの。 ※直送先として G128（Kansai University Graduate Schools） が選択されていること、16 ケタの Appointment Number（テスト予約番号、旧名称 Registration Number）の 2 点がわかるもの。 （注）TOEFL ITP® テスト等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコアは認めません。</p> <p>●TOEIC® L&R 【日本国内受験者】 「デジタル公式認定証」の PDF ファイルをダウンロードのうえ A4 用紙に印刷したもの ※25 ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。</p> <p>【日本国外受験者】 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本とその写し 1 部 （注1）TOEIC® L&R テスト（IP）等の団体特別受験制度のスコアは認めません。 （注2）原本は試験当日返却します。</p>

<p>在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)</p>	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。 【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
<p>写真 1枚</p>	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。</p>
<p>出願資格(1)ア～カで出願する者のうち、 修士論文(修士論文に準ずる論文を含む)を提出済または今年度末に提出予定の者</p>	
<p>日本語による研究計画書【⑤】</p>	<p>概要1,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>修士論文(修士論文に準ずる論文を含む)の概要※ または提出予定の論文の概要【⑦】</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>修士論文の写し(修士論文に準ずる論文を含む)※ または修士論文(修士論文に準ずる論文を含む)として提出予定の論文あるいは論文草稿の写し【⑧】</p>	<p>4部</p>
<p>出願資格(1)ア～カで出願する者のうち、 修士論文を提出せずに修士の学位または専門職学位を得た者(学位取得見込者を含む)</p>	
<p>日本語による研究計画書【⑤】</p>	<p>概要1,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>修士課程または専門職学位課程における研究概要【⑦】</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>研究業績がある場合は、抜刷またはその写し【⑫】★該当者のみ</p>	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し各4部</p>
<p>出願資格(1)キまたはクで出願する者</p>	
<p>日本語による研究計画書【⑤】</p>	<p>概要2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>資格・検定等がある場合はそれを証明する書類【⑩】★該当者のみ</p>	<p>「個別の入学資格審査申請書」の「資格・検定等」欄に記載した内容を証明するスコア証明書等 ★必ず原本を提出してください。</p>
<p>学習成果【⑪】または研究業績(学習成果を含む)【⑫】がある場合には、抜刷またはその写し★該当者のみ</p>	<p>4部 卒業論文、学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し</p>
<p>業績報告書【⑫】</p>	<p>研究業績または業務内容の概要 1,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して作成してください。</p>
<p>最終出身学校の成績証明書【⑬】</p>	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 在籍中の場合には成績証明書に加えて在籍証明書も提出すること</p>
<p>最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書【⑭】</p>	<p>出願書類③・④により証明する学修歴とは別に直近の学修歴がある場合は提出してください。 卒業・修了(見込)であること、入学年月および卒業・修了(見込)年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>

※ 2027年3月修了見込みの者が出願する場合、「修士論文(または修士論文に準ずる論文)の概要【⑦】」および「修士論文の写し【⑧】」に限り、2027年1月15日(金)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の得点それぞれについて基準点を設けて合否を決定します。

いずれかの得点が基準点到達する場合、もう一方の得点に関係なく不合格となる場合があります。

なお、経済学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

【筆記試験免除者】

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

5 試験科目・試験時間および配点

筆記試験 専門科目 (100点)	口頭試問 (100点)
10:00～11:30 (90分)	筆記試験終了後
志望する演習担任者の 専門・関連分野について行う	

注1 本大学院経済学研究科研究者養成コース(またはアカデミックコースまたは本科コース)の修了(または見込み)者は筆記試験を免除します。

なお、「筆記試験」免除者については、受験票にて通知します。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

注 出願に際しては、志望する演習担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、国内・海外での研究等で科目を担当しない学期があるので、事前に大学院入試グループへ相談してください。
 なお、演習担任者・科目については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansai.gradsch.kansai-u.ac.jp/>> (2026年4月現在)

2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧
 (博士課程後期課程)

経済学専攻

演習・論文指導担任者				
理論・統計・政策領域	ミクロ経済学特殊研究 (B)	教授	博(経済)大阪大	坂根 宏一
	経済変動論特殊研究	教授	Ph.D.(オーストラリア国立大)	鈴木 智也
	経済成長論特殊研究	教授	博(経済)神戸大	土居 潤子
	統計学特殊研究 (A)	教授	博(経済)京都大	宇都宮 浄人
	統計学特殊研究 (C)	教授	博(社会経済)筑波大	山田 宏
	計量経済学特殊研究 (A)	教授	博(経済)一橋大	伊藤 高弘
	計量経済学特殊研究 (B)	教授	博(経済)一橋大	片山 直也
	情報処理論特殊研究	教授	博(理)電通大	谷田 則幸
	労働経済学特殊研究	教授	Ph.D.(ウイスコンシン大)	野坂 博南
	経済政策特殊研究	教授	博(経済)東京大	本西 泰三
	租税政策特殊研究	教授	博(経済)大阪大	橋本 恭之
	社会保障論特殊研究	教授	博(国際公共政策)大阪大	佐藤 雅代
	公共経済学特殊研究	教授	博(経済)大阪大	前川 聡子
	産業・地域・国際領域	地域経済論特殊研究	教授	博(経済)東北大
国際経済学特殊研究		教授	Ph.D.(ニューヨーク州立大)	菅田 一
国際金融論特殊研究		教授	博(経済)大阪大	春日 秀文
経済発展論特殊研究		教授	博(地域研究)京都大	後藤 健太
人口経済学特殊研究		教授	博(経済)東北大	水落 正明
開発経済学特殊研究		教授	博(経済)神戸大	山本 裕基
ビジネス・エコノミクス特殊研究		教授	博(経済)大阪府立大	西川 浩平
環境経済学特殊研究		教授	博(人間・環境)京都大	新熊 隆嘉
アジア経済発展論特殊研究		教授	博(経済)関西大	北波 道子
EU経済論特殊研究		教授	Ph.D.(ジョンズ・ホプキンス大)	※神江 沙蘭
産業組織論特殊研究		教授	博(経済)学習院大	石井 光
中小企業論特殊研究		教授		古賀 款久
流通経済論特殊研究		教授	博(経済)関西大	佐々木 保幸
金融経済論特殊研究		教授	博(経済)京都大	中川 竜一
組織の経済学特殊研究	教授	博(経営)神戸大	小林 創	
アフリカ経済論特殊研究	教授	博(経済)岡山大 博(国際関係)南山大	ペドロ・ラポウズ	
歴史・思想・社会領域	日本経済史特殊研究 (A)	教授	博(経済)慶應義塾大	北原 聡
	日本経済史特殊研究 (B)	教授	博(経済)慶應義塾大	山口 明日香
	西洋経済史特殊研究	教授	Ph.D.(グラスゴー大)	熊谷 幸久
	アジア経済史特殊研究	教授	博(経済)大阪大	西村 雄志
	経済学説史特殊研究	教授	博(経済)京都大	※中澤 信彦
	近代経済学史特殊研究	教授		佐藤 方宣
	現代社会思想史特殊研究	教授	博(経済)京都大	吉野 裕介
政治経済学特殊研究	教授	博(経済)京都大	北川 亘太	

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

- (1) 手書きの場合、必ず黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
なお、志望理由書をパソコン等を使用して作成する場合、PDFのフォーム機能を利用して文字入力が可能です。
ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。
- (2) 出願後、志望コース・方式および志望演習担任者の変更は一切認めません。
- (3) 博士課程前期課程においては、志望するコース（研究者養成コース・高度専門職業人養成コース）および方式〔研究計画評価方式・共通試験方式・経済学検定利用方式〕を選択してください。
- (4) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する志望演習担当者を選択してください。なお、博士課程前期課程の〔共通試験方式〕および〔経済学検定利用方式〕志願者は、入学後に演習担当者を決定することになるため、志望演習担当者を記入する必要はありません。
 - ① **博士課程前期課程〔研究計画評価方式〕** 本募集要項 17ページ
「2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧（博士課程前期課程）」
 - 博士課程後期課程** 本募集要項 23ページ
「2027年度 経済学研究科 演習・論文指導担任者一覧（博士課程後期課程）」
 - ② 経済学研究科ウェブサイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_eco/)
 - ③ 関西大学大学院Information
- (5) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (6) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文を作成していない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がいない場合は、「なし」と記入してください。
- (7) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。
なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。
また、出願登録において代用漢字等を使用した場合については、出願書類と出願登録上の文字が異なっても問題ありません。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

- (1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。
（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。
*PDF等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。なお、PDF等のファイル形式をプリントアウトしたもの以外は発行されない場合、プリントアウトしたものに出身大学（院）等でインクスタンプを押印したものを提出すること。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書(公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可)」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

(2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。

(3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書(戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等)を別途提出してください。

(4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。

(5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。

・2026年8月1日(土)～9月20日(日)の間の土曜日

・2026年8月11日(火・祝)～8月20日(木)

・2026年12月26日(土)～2027年1月6日(水)

(6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。

TOEIC 「公開テスト スコア確認サービス」 手続きの流れ

【STEP 1】 TOEIC 申込サイトにログイン

ログインIDとパスワードを入力し、TOEIC 申込サイトにログインしてください。

TOEIC 申込サイト : <https://ms.toEIC.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx>

【STEP 2】 公開テスト申込ページへ

TOEIC 申込サイトトップページの「テスト結果」の右下にある「大学・企業等へのスコア提出」ボタンをクリックしてください。

【STEP 3】 スコア提出先と対象テストを選択

「提出先団体選択」で申請コード(関西大学大学院入試グループの申請コード「00015802」)を入力して、「検索」ボタンをクリックしてください。

次に「テスト種別選択」で提出するテストを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 4】 提出するスコアを選択

受験したTOEIC Listening & Reading 公開テストから提出するスコアを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 5】 提出内容と注意事項を確認し、提出完了

申請コード、提出先名称、提出スコアおよび注意事項を確認し、注意事項同意のチェックボックスにチェックを入れ、[提出する]ボタンをクリックしてください。

[テスト結果一覧]の[スコア提出一覧]から、提出履歴を確認することができます。



関西大学大学院

<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：高槻ミューズキャンパス事務グループ (ミューズオフィス)

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai-adm@ml.kandai.jp